

職人の技術が一度途絶えてしまったら、復活するのは容易ではない。

## 【第三章】 継承の意義

職人たちを支え続ける市内の事業所と、  
職業訓練校の代表者に、  
伝統の技術を継承する大切さや意義を聞いた。

### かやぶきの技術への思い

当社の職人、梶原清一さんには「将来は社員の先頭に立って指導してもらいからな」と、かやぶき科に送り出しました。当社は全部で25人の従業員。近年のご時勢だけに、一人の職人も貴重な人材です。正直なところは、どこの事業所もかやぶきの訓練に送り出すのは大変です。それでも、皆、かやぶきの技術を残しておかなければいけないという思いでやってきました。

縄をどの程度の強さで縛るのがいいのかなど、かやぶきの技術は職人が経験から体で覚えているもの。現代の建築にはさまざまなマニュアルや計算式がありますが、そればかりに頼らず、自らの経験と勘を生かすのも職人の基本であり、大切な部分です。しかし、職人の体が覚えているものだけに、放っておけばそのまま途絶えてしまう技術でもあります。その職人がいなくなってしまうから復活させるのは容易ではありません。「かやぶき科」のように、伝統技

術を受け継ぐ仕組みは大切だと感じています。

### 今後もより多くの経験を

良い仕事は、自信がなければできません。工法が違うなど大変な部分もあると思いますが、今回の大府市の仕事を立派に仕上げ、みんなに認められることで大きな自信につながるはず。職人は生涯勉強。いろいろな地方のいいやり方を見て、それを自分の技術にしていけたらいいと思います。大工職人ですら一人前の職人になるには6〜7年は掛かるもの。かやぶき科の5人が、一人前のかやぶき職人になるには、まだまだこれからです。

今後も、我々事業所としては遠野の職人に多くの仕事を経験させて、さらに腕に磨きをかけさせたいと思います。やがてはこの5人が会社の柱を越えて協力し合い、さらに若いかやぶき職人を育てながら、伝統の技術を受け継いでいければいいと思います。



菊栄工務店 社長  
菊池栄喜さん 67歳 小友町

### 職人育成に一つの手こたえ

全国でもあまり例を見ない「かやぶき科」を13年前に立ち上げ、かやぶき職人の育成に取り掛かったものの、年に数回の短期訓練の上、事業所の都合で毎回参加者が変わる状況で、なかなか職人が育たない状況が続いてきました。

指導する職人も年を重ねてきており、このままではいつまでたっても一人前の職人が育たないと、事業所にも固定した職人を参加させるよう協力を要請してきました。市内の事業所の皆さんには、本当にいろいろと協力していただきました。

それまでの訓練では、差しがやや小規模のかやぶきしか手掛けてきませんでした。市のかやぶき屋根再生事業に参加させてもらうことで、より多くの経験を積むこともできました。

かやぶきの屋根は、その土地によって形もふき方も違うもの。かやぶき職人の技術は、地域の文化を後世に伝える大事な仕事です。まだ遠

野に残る多くのかやぶき屋根を、遠野の材料と遠野の職人で手掛けることができるよう、一人前のかやぶき職人の育成が急がれています。現在、「かやぶき職人」として認定する技能認定資格の創設を検討しています。5人が育ったこれまでの過程を基に、ぜひ遠野の「かやぶき科」から発信したいと考えています。

### 遠野の文化を守る職人に

大府市での仕事が決まってからは、職人たちの目の色も変わりました。今までは誰かに頼ってこれましたが、ここからは自分たちでやらなければという意気込みを感じました。本気になって自ら研さんを積まないと、技術は身に付きません。大府市での仕事は、彼らにとって訓練でもあり、技術を自分のものにするいいきっかけにもなったと思います。

これまで受け継がれてきた遠野の大切な文化を守るかやぶき職人として、さらに成長してくれることを願っています。



遠野職業訓練協会 会長  
(遠野高等職業訓練校 校長)  
佐藤和治さん 79歳 松崎町

### 取材を終えて

「遠野のかやぶき職人」として、大府市でのふき替え作業に向かった5人。これまで身に付けた伝統の技術をいかんなく発揮しようとする姿は、遠野の伝統を受け継ぐ職人そのもの。

遠野の暮らしには、かやぶき屋根だけではなく伝統の芸能や伝統の食、そして語り継がれる昔話の数々など、先人たちが受け継いできた多くの伝統の技術が今も大切に残っている。現代のように物質的に豊かではなかった時代に、知恵と工夫と力を結集して心豊かに生きてきた先人たちの暮らし。そうした人々の心こそが、遠野の本来の魅力ではないだろうか。これまで大切に受け継がれてきた伝統の技術を受け継ぐのも、途絶えさせるのも今を生きるわたしたち次第。このまちをかたちづくる一人として、まだ多く残されている遠野の伝統の魅力やその価値に、もっともっと目を向けてみたい。

特集 職人の挑戦 終わり

かやぶき職人の技術は、  
地域の文化を後世に伝える大切な仕事。